



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.1
六甲のブナ/松井光利
2003年4月発行



六甲山のブナ

第1回テーマ： 六甲山のブナについて

講演内容

- 1: ブナを植える会の紹介
- 2: ブナの樹とは
- 3: ブナを通して多くの人との出会い
- 4: 六甲のブナへのかかわり
- 5: 六甲山ブナ林の保全増殖
についての私見

実施日：平成15年4月19日（土）
午後1時～4時
場 所：六甲山自然保護センター内
レクチャールーム



まついみつとし
講師：松井光利さん

プロフィール

昭和11年1月20日生まれ
サラリーマン歴40年
現在、ブナを植える会 副会長
日本自然保樹協会・自然観察指導員登録・ひょうご森の倶楽部・森林ボランティア（親林派）登録

風雨の六甲山でストーブを囲む

六甲山上は濃霧に加えて風雨が激しく、傘もさせない風雨の中を熱心な参加者が18名集まりました。定刻に開始し、ストーブで暖を取りながら進行了しました。

トップバッターは「六甲山のブナ」

「六甲山魅力再発見市民セミナー」を月例で定期開催しました。無期限で地道に継続を重ねて、講演記録は「六甲山魅力再発見ガイド」としてまとめる予定です。第1回市民セミナーは、100年～200年後の六甲山を考えて、六甲生まれのブナを植樹されている、「ブナを植える会」の副会長で通称ブナおじさんと親しまれている松井光利さんをお願いしました。「ブナを植える会」からは立派な看板をご寄贈いただき、前途を祝していただきました。

「六甲山の豊かな自然？に親しみ、楽しく語り合いましょう」

六甲山生まれのブナの種子の発見と苗作りから植樹。六甲山緑化植林の歴史を振り返りながら、六甲山の豊かな自然の中に親しみを見つけて、楽しみ方を話し合いましょう。（テーマについてのメッセージ）

VTRでブナの生態に感動

ブナを熟知している方から、六甲山もよく知らない方まで様々。世界遺産で有名な白神山地のブナの四季や、六甲山のブナの植樹でブナを植える会の活躍ぶりがVTRで紹介されました。自然のバロメーターと言われるブナの醸し出す雰囲気誘いに込まれました。

雪崩遭難防止で「ブナを植える会」が発足

昭和5年のハチ高原スキー場での雪崩遭難事故の50周年忌に、皆伐されているブナ林を目にした仲間がブナを植えていくことを決意し、ブナを植える会を結成しました。以来24年、但馬や六甲山で11000本以上のブナを植林しています。

六甲山にブナを植える、熱い思い

六甲山頂部にはブナとイヌブナの天然林が100本前後残っています。樹齢100～200年くらいで後継樹となるはずの種子、実生苗、若木も見あたらず、絶滅が危惧されていました。しかし、平成5年秋に「六甲ブナ」として初の実入りの種子が松井さんたちによって大量発見され採取されました。六甲生まれのブナを植えて、100～200年後には六甲山にブナ林を実現したい、という松井さんのライフワークが始まったわけです。

※詳しくは1～2ページをお読みください。



六甲山自然保護センター

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局

兵庫県立人と自然の博物館